



瑞浪市青少年育成市民会議だより 第12号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議 TEL 68-5281 (総合文化センター内)

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会



表彰状の贈呈



感謝状の贈呈



瑞浪小野球スポーツ少年団発表



瑞浪ゼロソフトテニスクラブ発表



陶町青少年育成町民会議発表

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会

平成30年2月18日

青少年育成に貢献された方への表彰状・感謝状の贈呈、四部会の活動報告、青少年活動団体、モデル地区の実践発表が行われました。実践発表では、子どもたちのスポーツや地域への参加活動を通して、たくましく豊かな心身を養う取組が紹介され、会場の皆さんの共感を呼びました。

受賞者名の紹介

表彰状

岐阜県立瑞浪高等学校 家庭クラブ 様

感謝状

兼松 恵子 様 (土岐町) 三輪 政光 様 (土岐町)

小栗 隆 様 (日吉町) 松浦 大哲 様 (大湫町)



「子ども・若者育成支援強調月間」街頭啓発活動

10月～11月にかけて、市内8会場にて「子ども・若者育成支援」の啓発活動を行いました。当日は、市民会議の皆さんの他に、保護司会、更生保護女性の会、酒類小売販売業組合、東濃西部少年センター事務局・指導員、市内高等学校MSリーダーズの協力をいただきました。



バロー瑞浪中央店 11/19



陶サニーヒルズ祭 10/15



日吉町文化祭 10/15



ピアゴ瑞浪店 11/19



釜戸町文化祭 10/29



稲津町文化祭 10/29



大湫町文化祭 11/3



中央公民館文化祭 11/12

※今年度より、町民会議の皆さんにもご協力をいただき、各地区文化祭会場においても啓発活動を行いました。



いきいき子育てふれあいトーク

10月19日（木）家庭教育部会が「いきいき子育てふれあいトーク」を開きました。前市PTA連合会母親委員会役員さんにも参加していただきました。

この会の合言葉は「茶話会形式でくつろぎながら」「子育ての先輩を交えて」です。

「乳児、幼児にスマホを持たせて、動画で子守をしている。子どもたちがどうなっていくのか心配。」「ルールを家庭でつくることが大切。」「親子がお互いをわかっていないことが多い。親子の時間を大切にしてほしい。」「学校統合によって、子どもたちがたくましくなることを期待している。」など家庭の母親、父親の立場として、学校や幼稚園の先生、地域の大人としてお互いにいきいきと意見交換をすることができました。



平成29年度道徳教育パワーアップ実践校公表会より

瑞浪地区青少年育成町民会議

11月28日（火）瑞浪中学校において「平成29年度道徳教育パワーアップ実践校公表会」が行われ、瑞浪地区青少年育成町民会議の取組が発表されました。地域での取組に対し、参観された方々からは大変温かい感想をいただきました。一部を紹介します。

- ・中学生が地域でのボランティアに参加し、いろいろな人と交流し、成長して帰ってくる姿は本当にいいなと感じています。そんなボランティア活動を経験する機会を提供してくださっている青少年育成町民会議の活動は素晴らしいし、大変ありがたいです。
- ・目標の「子どもたち自身が住んでいる地域を大切にしたいという思いを育むこと」に共感しました。学校の教育活動以上に大事な思いかもしれないと感じました。地域で活躍する子ども、地域に貢献できる子ども、地域を背負っていく子どもを育てるためには、単純によい子になるとか、成績を上げるとかの気持ちではなく、「地域を大切にしたい」という思いが必要なのだというお話に感銘を受けました。熱い発表に心を打たれました。



「地域活動部会」開催！

H29/11/23（木） 於：瑞浪市総合文化センター

各町民会議にて直接青少年育成にご尽力いただいている皆様に参加いただき、その活動の様子を交流しました。夏祭り、地域の運動会、文化祭等に子どもたちがいかに参加し、活躍の場をもてたか、成果と課題は何か等、活発に話し合っていました。



明世地区

- 青少年育成をまちづくり推進協議会にかかわっていただいている。(中学生と語る会など)
- 中学生が参加できる行事を考えている。
- 夏祭りでは幼児・小学生が多く参加する。夏祭りらしく子どもが浴衣姿で来てくれることがうれしい。

日吉地区

- 公民館活動、まちづくり推進協議会と連携し取り組んでいる。(天神窯まつり・文化祭・夏祭り) 子どもたちに参加してもらい力をつける。

釜戸地区

- 青パト・安全マップ・こども110番などで青少年育成にかかわっている。
- 夏祭り・秋祭りで中学生ボランティアが活躍している。

その他交流より

- 中学校統合に関しては、学校への依頼の仕方を考えていく。
- 中学生と語る会ではテーマを工夫していくことが大切だ。
- 青パトの協力は11名からスタートし、現在380名程まで拡大してきている。
- 学校と地域のかかわりを今後も大切にしたい。

瑞浪地区

- 夏祭りなどで中学生ボランティアが活躍している。
- 学校(小学校)へ地域の行事の参加を呼び掛けている。(花見会・すいとんの会・どんどの会など)

土岐地区

- 地域の行事に中学生が積極的に参加してくれている。(JR東海さわやかウォーキング・夏祭り・防災運動会・中学生と語る会・土岐川清掃)
- 鶴城では、笹踊りに小中学生の参加があり、猿子村ふれあい祭りでは中京高、瑞浪高の生徒さんが盛り上げてくれている。
- 子どもの見守りなど、自分の立場でできるだけ参加するようにしている。

稲津地区

- ふれあい映画会・運動会・収穫祭・ダムウォーキングなどを行っている。
- 中学生のボランティアなど多数の小中学生が参加している。

陶地区

- まちづくり推進協議会が中心に活動を行っている。ふれあい広場・追跡ハイクなどで中学生ボランティアが活躍している。



若者と語ろう!

フレッシュトーク in 瑞浪 (高校生と語る会)

H29/12/3 (日) 於：瑞浪市総合文化センター

今年度の「高校生と語る会」は『若者と地域とのかかわり』をテーマに、市内の高校生と市民会議の皆さん約70名の参加を得て開催しました。少年の主張岐阜県大会優秀賞を受賞した日吉中学校3年生 堀部愛さんの主張「伝統の中で生きる」の感想交流から、6つのグループで活発な話し合いが行われました。

堀部 愛さんの主張を聞いて

- ・大人になっても故郷を忘れないようにしたい。
- ・地域の伝統や文化を次の世代に引き継ぐことが大切だと感じた。
- ・私たち（高校生）が地域の伝統や文化をよく知らない。地域から若者に情報発信してほしい。(広告、ポスター、SNSなど)
- ・受験勉強などで若者も大変忙しいが、少しでも地域とかがわっていただけるとよかった。
- ・伝統や文化にかかわることで将来の夢につながるがあると感じた。
- ・後継者づくりを学校の授業や見学会を計画することなどで行っている。
- ・歌舞伎を通して成長している。これから別の道でも生きてくる。



若者と地域がかかわるために

- ・三校（瑞浪・麗澤・中京）が集まって地域のためにできることがないか話し合う場が実現できるとよい。
- ・高校と地域とのコミュニケーションが大切。学校から地域へ、地域から学校へお互いに働きかけが増えるとよい。
- ・地域の文化を若者に興味をもってもらえるものに変えていくことも大切だと思う。
- ・中学生、高校生が地域の祭りなどに参加することがかかわりを深めることにつながる。
- ・地域の人たちとかがわる第一歩はあいさつだと思った。



「無ガム中大作戦」～駅前路面清掃活動～

12月10日（日）、JR瑞浪駅前の道路などに付いたガムをはがす「無ガム中大作戦」を行いました。環境改善部会主催によるもので、今年度で3回目の実施となります。当日は、部会員の他、地元の中学生・高校生のボランティアを含めて80人程の参加となりました。

ベンチやバス停の路面、点字ブロック、地下道の階段にこびり付き黒ずんだガムを、ワイヤブラシやへらなどを使って取り除きました。

子どもたちからは「どうして平気で捨てるのかな」という声が聞かれました。



1年間の活動を終えて

瑞浪市青少年育成推進員代表 安田 善一郎

瑞浪市青少年育成のスローガン「みとめて、ほめて、はげまして」のもと、各地・各場所での、市民会議主催活動へのご協力ありがとうございました。

特に、今年度は「青少年の非行・被害防止強調月間」や「子ども・若者育成支援強調月間」での街頭啓発活動の新たな試みとして、各地区の夏まつり、文化祭でも啓発グッズの配布をし、今まで市内の中央部で行っていた活動を各地区の皆さんに知って頂きました。

また、12月には、「フレッシュトーク in 瑞浪」で市内の高校に通学する生徒さん達と“若者と地域とのかかわり”をテーマに、学校と地域との絆をつくるための意見交換をしました。

多くの活動を終え、来年度に向けての課題も出てきています。

市民会議の皆さんと協議しながら、来年度もより良い青少年育成活動ができればと考えています。

平成30年度 主な年間行事(予定)

- ・ 5月20日(日) 第1回青少年育成市民会議総会
- ・ 6月17日(日) 瑞浪市主張大会
- ・ 12月9日(日) 高校生と語る会
- ・ 2月17日(日) 第2回青少年育成市民会議総会